

1. 科目名 (単位数)	カウンセリング演習 (2単位)	3. 科目番号	SJMP6334
2. 授業担当教員	吉川 晴美		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係		履修形態 (通信教育)	SR
7. 講義概要	カウンセリングの技法の習得はロールプレイ・心理劇などを通して深めていく。また、さまざまな子どもの発達問題を総合的に支援する方法について考察する。さらに、心理査定、発達診断・治療および保護者へのカウンセリングの方法について演習を通して学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの技法を深め、保育実践に応用できるように習得する。 2. 子どもの問題の理解を通して、専門的な配慮必要な子どもについて理解し、説明できる。 3. 心理査定・アセスメントの方法について理解する。 4. 発達診断と発達臨床の方法について知る。 5. 保護者援助、かかわり方について学習する。 6. 保育臨床について理解し、保育者のあり方を考えることができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリング (心理臨床) の基本と方法について考察する。 2. 発達障害とは何かについての基本的理解、援助方法について考察する。 3. 児童虐待とは何かについての基本的理解、予防、対応方法について考察する。 4. 保護者、家族援助の方法について考察する。 5. 発達臨床に関わる論文を読み、理論と方法、実践の側面から考察する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 赤井美智子、神田久男、春原由紀、萩原英寿、吉川晴美『子どもの発達と心理臨床』樹村房</p> <p>【参考書】 吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会</p> <p>松村康平「臨床心理学の方法」『臨床心理学』朝倉書店 J.L.モレノ『サイコドラマ—集団精神療法とアクションメソッドの原点』、 G.A.ロイツ『人生を舞台に—モレノの継承と発展』野村訓子 (訳)、関係学研究所、 松村康平『人間関係学』関係学研究所、 杉山登志郎『発達障害の子どもたち』講談社現代新書、 日本関係学会編『関係<教育・臨床>』不昧堂出版、 森則夫他編著『臨床家のための DSM-5 虎の巻』日本評論社、 春原由紀『子ども虐待としての DV-母親と子どもへの心理臨床的援助のために-』星和書店、 保育と虐待対応事例研究会『子ども虐待と保育園 (続) 事例で学ぶ対応の基本』ひとなる書房、 洲鎌 盛一『乳幼児の発達障害診療マニュアル・健診の診かた・発達の促しかた』医学書院、 青木久子・間藤侑・河邊貴子『子ども理解とカウンセリングマインド』萌文書林、 中村雄二郎『臨床の知とは何か』岩波新書、 武藤安子・吉川晴美・松永あけみ編著『家庭支援の保育学』建帛社</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの技法を深め、保育実践に応用できるように習得する。 2. 発達障害について理解し、支援方法を修得できる。 3. 心理査定と発達診断の方法を知る。 4. 保護者支援および保育者のあり方を身につける。 <p>○評定の方法 授業への参加度 50%、レポート 50%等</p>		
12. 受講生へのメッセージ	教科書を読んで理解することに加え、実際にロールプレイや話し合いを通して、積極的に参加する態度を求めます。		
13. オフィスアワー	開始時に提示する		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	カウンセリングの技法		
【学習の目標】	カウンセリングの技法についての理解を深める。		
【学習の内容】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な心理療法の考え方について理解し、復習する。 2. カウンセリングの技法を深め、応用できるように習得する。 		
【キーワード】	発達臨床の進め方、精神分析・行動認知・来談者中心療法、心理劇、関係状況療法		
【学習の課題】	授業内で提示する		
【参考文献】	赤井美智子、神田久男、春原由紀、萩原英寿、吉川晴美『子どもの発達と心理臨床』樹村房、 丹野 義彦・石垣 琢麿・毛利 伊吹・佐々木 淳・杉山 明子『臨床心理学』有斐閣		
【学習する上での留意点】	カウンセリングに関連する専門用語を理解する。		
1. テーマ	特別なニーズの理解1 (発達障害)		
【学習の目標】	注意欠如・多動性障害とは何かを理解し、保育・教育場面における配慮、かかわり方について理解する。		
【学習の内容】	注意欠如・多動性障害の概念、心理、行動特性、保育・教育場面における配慮、かかわり方		
【キーワード】	注意欠如・多動性障害の行動特性、認知特性、集団における援助、かかわり方		
【学習の課題】	授業内で提示する		
【参考文献】	吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 杉山登志郎『発達障害の子どもたち』講談社現代新書、 森則夫他編著『臨床家のための DSM-5 虎の巻』日本評論社、 洲鎌 盛一『乳幼児の発達障害診療マニュアル・健診の診かた・発達の促しかた』医学書院、 橋本創一他『障害児者の理解と教育・支援』金子書房		
【学習する上での留意点】	具体的な場面、子どもの様子をイメージし、対応、かかわり方学ぶ。		

2. テーマ	特別なニーズの理解2 (発達障害)
【学習の目標】	自閉症スペクトラム(ASD)とは何かを理解し、援助の方法、かかわり方について理解する。
【学習の内容】	ASDとは、心理・行動特性、特別なニーズ、かかわり方
【キーワード】	ASD、心理・行動特性、かかわり方
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 杉山登志郎『発達障害の子どもたち』講談社現代新書、 森則夫他編著『臨床家のためのDSM-5 虎の巻』日本評論社、 洲鎌 盛一『乳幼児の発達障害診療マニュアル・健診の診かた・発達の促しかた』医学書院、 橋本創一他『障害児者の理解と教育・支援』金子書房
【学習する上での留意点】	具体的な場面、子どもの様子をイメージし、対応、かかわり方を学ぶ。
3. テーマ	特別なニーズの理解3 (虐待・不適切な対応)
【学習の目標】	虐待とは何かについて親子・人間関係の視点から理解する。
【学習の内容】	親子関係の発達の視点から虐待について考え、予防、対応方法について、ロールプレイ等を通して学ぶ。
【キーワード】	虐待、親子関係、予防、かかわり方
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	春原由紀『子ども虐待としてのDV-母親と子どもへの心理臨床的援助のために-』星和書店、 保育と虐待対応事例研究会『子ども虐待と保育園(続) 事例で学ぶ対応の基本』ひとなる書房、 D.オッペンハイム・D.F.ゴールドミス編『アタッチメントを応用した養育者と子どもの臨床』ミネルヴァ書房
【学習する上での留意点】	具体的な場面、子どもの様子をイメージし、かかわり方、対応を学ぶ。
4. テーマ	子どもの問題と対応(1) (言葉の問題、パニック、落ち着きがないなどの相談主訴)
【学習の目標】	子どもの問題について、多面的に理解し考察できる。
【学習の内容】	友だちと遊べない、不安が強い、不器用、親から離れない、偏食などの主訴(問題)をとりあげて、ロールプレイ、ディスカッションを通して背景となる要因、状況をさぐり、対応について考えていく。
【キーワード】	関係状況における行動の意味、肯定的配慮、カウンセリングマインド、三者関係、かかわり方
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会 松村康平『臨床心理学の方法』『臨床心理学』朝倉書店、 吉川晴美『関係に気づき、活かすには』『関係』日本関係学会編、不昧堂出版
【学習する上での留意点】	具体的な場面、子どもの様子をイメージし、かかわり方、対応を学ぶ。
5. テーマ	子どもの問題と対応(2) (友だちと遊べない、不安が強い、不器用、親から離れない、偏食などの相談主訴)
【学習の目標】	子どもの問題について、多面的に理解し考察できる。
【学習の内容】	友だちと遊べない、不安が強い、不器用、親から離れない、偏食などをとりあげて、ロールプレイ、ディスカッションを通して背景となる要因をさぐり、対応について考えていく。
【キーワード】	関係状況における行動の意味、肯定的配慮、カウンセリングマインド、三者関係、かかわり方
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 吉川晴美『関係に気づき、活かすには』『関係』日本関係学会編、不昧堂出版、 松村康平『臨床心理学の方法』『臨床心理学』朝倉書店
【学習する上での留意点】	具体的な場面、子どもの様子をイメージし、かかわり方、対応を学ぶ。
7. テーマ	発達臨床における心理査定(1) (個別検査)
【学習の目標】	発達期の子ども種々の心理検査の実際を知る(個別検査)。
【学習の内容】	認知発達面にかかわる検査—田中ビネー検査、新版K式発達検査—
【キーワード】	知能検査、発達検査、テストバッテリー
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	赤井美智子、神田久男、春原由紀、萩原英寿、吉川晴美『子どもの発達と心理臨床』樹村房、 吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版 松村康平『臨床心理学の方法』『臨床心理学』朝倉書店、 次良丸睦子・五十嵐一枝『発達障害の臨床心理学』北大路書房
【学習する上での留意点】	諸検査の諸特徴を学び、事例に応じて検査の選択ができるように理解する。
8. テーマ	発達臨床における心理査定(2) (質問紙法)
【学習の目標】	発達期の子ども種々の心理検査の実際を知る(質問紙法)。
【学習の内容】	津守式発達検査、WISK知能検査、円城寺式発達検査
【キーワード】	発達検査、テストバッテリー
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	赤井美智子、神田久男、春原由紀、萩原英寿、吉川晴美『子どもの発達と心理臨床』樹村房、 吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 松村康平『臨床心理学の方法』『臨床心理学』朝倉書店、 次良丸睦子・五十嵐一枝『発達障害の臨床心理学』北大路書房
【学習する上での留意点】	諸検査の諸特徴を学び、事例に応じて検査の選択ができるように理解する。
9. テーマ	発達臨床援助の方法(1)
【学習の目標】	乳幼児の発達診断から支援方法を考えることができる。
【学習の内容】	乳幼児の発達診断の方法について、発達診断から発達臨床、発達支援の方法の考え方。
【キーワード】	発達、発達診断
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	赤井美智子、神田久男、春原由紀、萩原英寿、吉川晴美『子どもの発達と心理臨床』樹村房、 吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 松村康平『臨床心理学の方法』『臨床心理学』朝倉書店、 田中昌人『子どもの発達と診断』大月書房
【学習する上での留意点】	乳幼児の発達診断の方法を学び、事例を通して理解を深める。

10. テーマ	発達臨床支援の方法（2）
【学習の目標】	乳幼児の発達診断に基づく支援方法について知る。
【学習の内容】	乳幼児の発達支援の方法について
【キーワード】	発達、発達臨床、発達支援
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	赤井美智子、神田久男、春原由紀、萩原英寿、吉川晴美『子どもの発達と心理臨床』樹村房、 吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 松村康平「臨床心理学の方法」『臨床心理学』朝倉書店、 田中昌人『子どもの発達と診断』大月書房
【学習する上での留意点】	乳幼児の発達診断の方法を学び、事例を通して理解を深める。
11. テーマ	保護者への支援（1）（カウンセリングマインドと保護者支援）
【学習の目標】	保護者支援に活かすカウンセリングマインドについて理解する。
【学習の内容】	カウンセリングマインドについて理解し、活かせる技法、特に傾聴、受容、共感について理解する。
【キーワード】	カウンセリングマインド、傾聴、受容、共感
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	赤井美智子、神田久男、春原由紀、萩原英寿、吉川晴美『子どもの発達と心理臨床』樹村房、 吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 日本関係学会編『関係＜教育・臨床＞』、不昧堂出版、 松村康平『臨床心理学の方法』『臨床心理学』朝倉書店
【学習する上での留意点】	子どもの家族関係を捉え、子どもや家族に寄り添う相談、支援を身に着ける。
12. テーマ	保護者への支援（2）（子どもが通う場の特性を活かした保護者支援）
【学習の目標】	保護者支援の方法について知る。
【学習の内容】	子どもの通う場（集団）の特性を活かした、共に育つ保護者支援の方法
【キーワード】	保育者、保育所・幼稚園、学校、三者面談、共に育つかかわり方
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 日本関係学会編『関係＜教育・臨床＞』、不昧堂出版、 柏女霊峰・橋本真紀『保育者の保護者支援』フレーベル館、 柏女霊峰・橋本真紀『保育相談支援』ミネルヴァ書房
【学習する上での留意点】	幼稚園、保育所、学校の集団の特性について改めて確認し、考えておく。
13. テーマ	保育・教育臨床1（保育・教育臨床とは何か）
【学習の目標】	保育・教育の場における臨床とは何か、保育・教育の場におけるカウンセリングマインドとは何かを理解する。
【学習の内容】	保育・教育の場における臨床、カウンセリングマインド、臨床の知とは何か、保育実践と臨床の知について
【キーワード】	カウンセリングマインド、臨床の知、倫理
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 日本関係学会編『関係＜教育・臨床＞』、不昧堂出版、 青木久子・間藤侑・河邊貴子『子ども理解とカウンセリングマインド』萌文書林、 中村雄二郎『臨床の知とは何か』岩波新書
【学習する上での留意点】	現場での事例を考え授業に参加する。
14. テーマ	保育・教育臨床2（保育者・教師のあり方、チームワーク・連携）
【学習の目標】	保育・教育臨床と保育者・教師の在り方、チームワーク、連携について理解し、考えることができる。
【学習の内容】	保育・教育のチームワーク・連携について学び、保育者・教師のかかわり方を考える。
【キーワード】	保育・教育臨床、保育者・教師、個と集団の関係、チームワーク
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 日本関係学会編『関係＜教育・臨床＞』不昧堂出版、 武藤安子・吉川晴美・松永あけみ編著『家庭支援の保育学』建帛社
【学習する上での留意点】	関係状況における協働的保育者・教師の在り方について考える。
15. テーマ	保育・教育臨床3（事例を通して学習する）
【学習の目標】	保育の場における事例を取り上げて、子どもと共に育つ保育・教育臨床について深く理解する。
【学習の内容】	事例をとりあげて、保育者としてどのようかかわったらよいか討議を通して理解する。
【キーワード】	ロールプレイ、事例、討議
【学習の課題】	授業内で提示する
【参考文献】	吉川晴美・松井知子『人間関係の理解と心理臨床—家庭・園・施設・職場の問題解決のために』慶應義塾大学出版会、 日本関係学会編『関係＜教育・臨床＞』、不昧堂出版 青木久子・間藤侑・河邊貴子『子ども理解とカウンセリングマインド』萌文書林
【学習する上での留意点】	現場での事例をロールプレイや討議を通して体得する。